



PRESS INFORMATION



2014年5月13日

株式会社日本レースプロモーション

5月17日(土)～18日(日)

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第2戦

富士スピードウェイ大会選手権概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 白井 裕、所在地:東京都千代田区)は、5月17日(土)～18日(日)の2日間、静岡県 富士スピードウェイ レーシングコース(1周:4.563km)で開催される「2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ第2戦富士スピードウェイ大会」について選手権概要を発表する。

今シーズンは5年ぶりとなる新型車両「SF14」が導入された。シャシーはダラーラ・オートモービル(イタリア)、タイヤはブリヂストンというワンメイクだが、エンジンはトヨタ(R14A)とホンダ(HR-414R)の2種類。2社ともに新開発の排気量2リッター直列4気筒直噴ターボ過給エンジンで、開幕戦鈴鹿ではトヨタエンジン搭載車が決勝レース結果上位7台を占め圧倒。本大会でのホンダ勢の巻き返しが期待される。

公式予選はノックアウト方式で、Q1(20分間)、Q2(7分間)、Q3(7分間)の計3回の予選が行われるが、本大会の決勝レースは2レース制となるため、レース1のスタート位置はQ1の結果に準じて決定され、レース2のスタート位置はQ3の結果に準じて決定されるという特別規則が適用される。それにより2レースともに最も有利なスタート位置であるポールポジションを獲得しようとするならば、Q1で最速タイムを記録し、Q2で上位8番手以内に残り、Q3で再度最速タイムを記録したドライバーが、決勝レースを最も有利に戦えるドライバーとなる。

レース1は1周:4.563kmのレーシングコースを25周、計114.075kmで争われる。またレース2は35周、計159.705kmで争われるが、1回以上のタイヤ交換義務がある。レース1はスプリントレースで、スタート位置が勝敗を決める重要な要素となり、レース2はタイヤ交換が義務付けられているためピットワークも競われ、チームの総合力も試されることとなる。

レースの勝敗は、開幕戦の結果からやはりトヨタエンジン搭載車に乗るドライバーが有利と考えられる。特に開幕戦優勝を果たしたロイック・デュバル(キグナス スノコ チーム ルマン)と、開幕戦予選1-2だったペトロナス・チーム・トムのアンドレ・ロッセラーと中嶋一貴らが表彰台に上る確率が高い。また巻き返しを図るホンダ勢だが、ディフェンディング・チャンピオンの山本尚貴(チーム無限)、F3からステップアップした野尻 智紀(ドコモ チーム ダンディライアン レーシング)、F1経験者のヴィンタントニオ・リウツィ(エイチピー リアル レーシング)がどこまで上位に食い込むかが注目される。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI J SPORTS

SKY Perfect JSAT Corporation

人 NINKI-ICHI 人気酒造

エントリーリスト 1/3

NO.	ドライバー		エントラント名		車両名 (エンジン)
	生年月日	国籍 (出身地)	監督名		
1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto 1988. 7. 11 日本 (栃木県)		TEAM 無限 (チーム無限) 手塚 長孝		TEAM 無限 SF14 (Honda HR-414E)
	2				
3	ジェームス・ロシター James Rossiter 1983. 8. 25 イギリス		KONDO RACING (コンドーレーシング) 近藤 真彦		フジ・コーポレーション KONDO SF14 (TOYOTA R14A)
7	平川 亮 Ryo Hirakawa 1994. 3. 7 日本 (広島県)		KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナス スノコ チーム ルマン) 土沼 広芳		ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 (TOYOTA R14A)
	8				ロイック・デュバル Loic Duval 1982. 6. 12 フランス
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi 1986. 11. 20 日本 (栃木県)		HP REAL RACING (エイチピー リアルレーシング) 金石 勝智		HP SF14 (Honda HR-414E)
	11				ヴィンタントニオ・リウッツィ Vintantonio Liuzzi 1981. 8. 6 イタリア
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama 1991. 7. 25 日本 (東京都)		KCMG (ケーシー エム ジー) 土居 隆二		KCMG Elyse SF14 (TOYOTA R14A)

エントリーリスト 2/3

NO.	ドライバー 誕生日 国籍 (出身地)	エントラント名 監督名	車両名 (エンジン)
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira 1994. 7. 13 ブラジル	Lenobo TEAM IMPAL (レノボ チーム インパル) 星野 一義	Lenobo TEAM IMPAL SF14 (TOYOTA R14A)
20	クマール・ラム・ナレイン・カーティケヤン Kumar Ram Narain Karthikeyan 1977. 1. 14 フランス		
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima 1989. 1. 29 日本(愛知県)	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング) 中嶋 悟	NAKAJIMA RACING SF14 (Honda HR-414E)
32	小暮 卓史 Takashi Kogure 1980. 8. 1 日本(群馬県)		
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer 1981. 11. 19 ドイツ	PETRONAS TEAM TOM' S (ペトロナス・チーム・トムス) 舘 信秀	PETRONAS TOM' S SF14 (TOYOTA R14A)
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima 1985. 1. 11 日本(愛知県)		
38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura 1981. 4. 23 日本(東京都)	P.MU/CERUMO/INGING SF14 (プロミュー/セルモ・インギング) 立川 祐路	P.MU/CERUMO/INGING SF14 (TOYOTA R14A)
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto 1990. 9. 12 日本(神奈川県)		

エントリーリスト 3/3

NO.	ドライバー 誕生日 国籍 (出身地)	エンタラント名 監督名	車両名 (エンジン)
40	野尻 智紀 Tomonori Nojiri 1989. 9. 15 日本(茨城県)	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ チーム ダンディライアン レーシング) 村岡 潔	DOCOMO DANDELION M40T SF14 (Honda HR-414E)
41	武藤 英紀 Hideki Mutoh 1982. 10. 6 日本(東京都)		DOCOMO DANDELION M41Y SF14 (Honda HR-414E)
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga 1983. 4. 25 日本(愛知県)	TOCHIGI Le Beausset Motorsports (とちぎ・ル・ポーセ モータースポーツ) 坪松 唯夫	DENSO Le Beausset SF14D (TOYOTA R14A)

2014年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P. P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

* P. P. : ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*最終戦(第7戦)鈴鹿大会に限り、レース1、レース2の勝者には通算ポイント別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エンタラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

2014年ドライバーズ・ポイントランキング

順位	No. ドライバー名	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7
1	8 ロイック・デュバル	10						
2	3 ジェームス・ロシター	8						
3	38 石浦 宏明	6						
4	7 平川 亮	5						
5	36 アンドレ・ロッター	5*						
6	37 中嶋 一貴	3						
7	19 JPデ・オリベイラ	2						
8	11 ヴィタントニオ・リウッツィ	1						
	40 野尻 智紀	-						
	41 武藤 英紀	-						
	1 山本 尚貴	-						
	2 中山 友貴	-						
	39 国本 雄資	-						
	10 塚越 広大	-						
	31 中嶋 大祐	-						
	32 小暮 卓史	-						
	20 ナレイン・カーティケヤン	-						
	62 嵯峨 宏紀	-						
	18 中山 雄一	-						

(注) 太字は優勝、*印P.P.

2014年チーム・ポイントランキング

順位	No.	チーム名	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7
1	7, 8	キグナス スノコ チーム ルマン	15						
2	3	コンドーレーシング	8						
3	36, 37	ベトロナス・チーム・トムス	7						
4	38, 39	プロミュー/セルモ・インギング	6						
5	19, 20	レノボ チーム インパル	2						
6	10, 11	エイチピー リアル レーシング	1						
7	40, 41	ドコモ チーム ダンディライアン レーシング	0						
8	1, 2	チーム無限	0						
8	62	とちぎ・ル・ポーセ モータースポーツ	-						
	18	ケーシー エム ジー	-						
	31, 32	ナカジマ レーシング	-						

—ご参考—

1. スーパーフォーミュラ

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レース。一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートによりフォーミュラ・ニッポンとして1996年にスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更した。

2. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオン ドライバーには、株式会社日本レースプロモーションより、賞金とシリーズ ドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付される。経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与される。

3. レース車両（SF14）

シャシーはダラーラ・オートモービル社（イタリア）製でタイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは排気量2リッター、直列4気筒直噴ターボ過給エンジンでHonda HR-414EまたはTOYOTA R14Aを使用する。

4. オーバーテイクシステム（OTS）

燃料リストラクターシステム（燃料流量規制システム）を活用し、約20秒間燃料供給量を上げて約5%エンジン性能をアップさせ、オーバーテイクを補助するシステム。ステアリングにあるボタンで操作し、本大会ではレース1、レース2の決勝を通じ、あわせて5回まで使用できる。使用中はドライバーのヘルメットの後方にあるランプが点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色のオーバーテイクランプ（リーダーズレッド）を装着している。OTSはスーパーフォーミュラ独特の仕組み。

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4/ 12~13	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250km
5/ 17~18	第2戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	2レース制
7/ 12~13	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250km
8/ 23~24	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250km
9/ 13~14	第5戦/オートポリス	ノックアウト	220km
9/ 27~28	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250km
11/ 8~ 9	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

—開催概要—

- 大会名称 : 2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 第2戦
- 併催レース: スーパーカーレースシリーズ 第3戦、第4戦
- 開催日 : 2014年5月17日(土)~5月18日(日)
- 開催地 : 静岡県 富士スピードウェイ レーシングコース (1周: 4.563km)
- 主催 : 富士スピードウェイ株式会社/富士モータースポーツクラブ (FMC)
- 公認 : 国際自動車連盟 (FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)
株式会社日本レースプロモーション (JRP) (<http://www.f-nippon.co.jp/>)
- 認定 : 株式会社 SCR・JAPAN (SCRJ)
トヨタカーズ・レース・アソシエーション (T.R.A)
- 後援 : 静岡県小山町、御殿場市、裾野市、社団法人静岡県観光協会、小山町観光協会
御殿場市観光協会、裾野市観光協会、K-mix、東京中日スポーツ/中日スポーツ
- 同日開催 : GAZOO Racing 86/BRZ Race 2014 第3戦
スーパーカーレースシリーズ 第3戦、第4戦
富士スーパーFJ選手権シリーズ・FJ1600 富士シリーズ第2戦

【チケット情報】

- 観戦券 : 前売り大人 ¥5,700 (予選・決勝2日間有効)
*中学生以下は保護者同伴に限り入場無料です。
*詳細は富士スピードウェイ公式サイト (<http://www.fsw.tv>) をご参照ください。

【TV放映予定】

- 「J SPORTS 1」：全戦決勝レースをライブ中継。また決勝レースのリピート放送やレースダイジェスト番組も放送。
*リピート放送、レースダイジェスト番組は、スーパーフォーミュラオフィシャルウェブ(<http://www.superformula.net/>)
またはJ SPORTSホームページ(http://www.jsports.co.jp/program_guide/month/japanese/c_month14.html)
にてご確認ください。
- 「BSフジ」：大会ごとに55分間の「スーパーフォーミュラ」特集を放送。
5月25日(日) 14時00分~14時55分
再放送5月31日(土) 15時00分~15時55分
*放送日、放送時間はスーパーフォーミュラオフィシャルウェブ(<http://www.superformula.net/>)をご確認ください。
- フジテレビONE/TWO/NEXT(CS)「スーパーフォーミュラTV」
各レースのハイライト映像と現役参戦ドライバーをタジオに迎えてトークで構成された特別番組を放送。
5月16日(金) 28時30分~28時30分 (フジテレビONE)
5月24日(土) 17時25分~17時55分 (フジテレビNEXT)
5月24日(土) 29時10分~29時40分 (フジテレビNEXT)
- YAHOO! GyaO!：大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンド
(<http://gyao.yahoo.co.jp/>)にて配信。
*放送日、時間は予告なく変更される場合がありますので、SF公式ホームページ(<http://www.superformula.net/>)で
ご確認ください。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformula.net/>)

102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

e-mail: media@superformula.net

Tel:03-3237-0131 Fax: 03-3237-0135

広報担当: 遠藤清人 携帯電話: 090-3401-8112

e-mail: media@jrp-inc.net